

宍粟郡一宮町にヒサマツ ミドリシジミを求めて

佐々木 薫

兵庫県産ヒサマツミドリシジミについてはこれまでに竹野町、城崎町、香住町、浜坂町、温泉町、豊岡市、村岡町、美方町、出石町、但東町、白鳥町、関宮町、養父町、大屋町、和田山町、波賀町、一宮町と兵庫県を南北に二分してみると圧倒的に日本海側から多く発見されている。瀬戸内側では標高 500m 以上を必要とし奇種となる。

最も瀬戸内側に近い一宮町からは1977年9月富士野より3卵採集され、その内1♂羽化の成功が報告されている(高田・井手、1978)。

我々播磨蝶友会では先ず同じ一宮町でも富士野より少しでも南に寄った黒原に目標地を定め同種の兵庫県に於ける南限の記録を目指し1973年3月18日に採卵行を行なった。

黒原の山道は早春とはいえ雪が残っていてその踏込む足音を耳にしながら採卵会に参加した会員の5名は食樹のウラジロガシを先ず捜す事に専念歩き続けた。

いつしかウラジロガシも発見出来ず、ばらばらになった小生とO氏、Y氏が車の駐車している場所へ戻って雪溶けの小川のせ、らぎを聞きながら少し早い弁当を食べ始めた。

その時別れていたH氏とK氏の声が前方の山の中腹当りから聞こえてきた。どうもはっきりしない声であったが卵が見つかったというように聞きとれた。その時の我々3名がH氏とK氏のところ迄行き着く事の早かったこと……………。

H氏とK氏はすでに数卵、ヒサマツミドリシジミの卵を採っていた。

それからの数時間我々5名は無中で卵を捜した。その結果各氏とも20~30卵程度のヒサマツの卵を採集することが出来た。

採集した卵については各氏とも飼育に好成績を収めることが出来た。

目標地を見事に的中し気を良くした我々播磨蝶友会では第2の新産地を求め1979年12月1日に会員6名の参加をえて次の目標地を同じ一宮町千町方面に定め採卵行を行った。

しかし千町では捜せど捜せど食樹すら発見出来ずついに我々は千町での新産地発見をあきらめ、今回の採卵行でのリーダーO氏の案内で千町近辺の××地区へ

移動し、そこで我々はウラジロガシの群落を見ることが出来た。

各会員必死の卵捜し作業がそれから数時間また、くまに過ぎ去った。その結果ヒサマツの卵はO氏が1卵採集しただけに終り、他の5名は全員坊主に終った。

しかし兵庫県産ヒサマツミドリシジミの産地を2回の採卵行で2ヶ所発見出来たことは誠に幸運であった。

追記

今回2回の採卵行でヒサマツの卵以外に採卵行した3ヶ所でヤマザクラを調査したところ3ヶ所ともメスアカミドリシジミの卵を採卵することが出来たので報告します。

参 考 文 献

高田忠彦：井手敏晴(1978)兵庫県産蝶類調査報告(1)
MDKNEWS Vol.28No.79

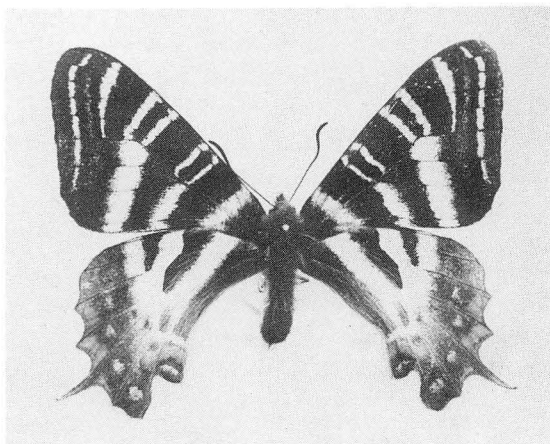
〈KAORU SASAKI〉〒678 相生市

ギフチョウの斑紋異常型

広畑 政 己

兵庫県西脇市にて採集された個体の中に、後翅が写真のように淡色化した個体があったので報告する。

淡色化した個体はこの一頭だけではなく、1977年にも同地で吉田豊氏によって1♂が採集されている。写真の標本は竹内俊行氏から寄贈を受けた。氏の御厚意に感謝したい。



〈採集記録〉 西脇市平野 1♂ 16 IV 1976 竹内俊行